

理想の歌姫が舞い降りた——
イザベル・レナード、日本デビュー・リサイタル

東京春祭 歌曲シリーズvol.6
Tokyo-HARUSAI Lieder Series vol.6

イザベル・レナード Mezzo Soprano
ISABELLE LEONARD

メゾ・ソプラノ: **イザベル・レナード**
Mezzo Soprano: Isabel Leonard

ピアノ: (調整中)
Piano: (TBA)

ヘンデル: 歌劇《ジュリアス・シーザー》より「心に呼びさませ」

Händel: 'Svegliatevi nel core' from "Giulio Cesare"

モーツァルト: 歌劇《ドン・ジョヴァンニ》K.527より「恋人よ、さあこの薬で(薬屋の歌)」

Mozart: 'Vedrai, carino' from "Don Giovanni" K.527

モーツァルト: モテット《踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ》K.165より「アレルヤ」

Mozart: 'Alleluja' from Motetus "Exsultate, jubilate" K.165

ロッシーニ: 歌劇《セビリアの理髪師》より「今の歌声は」

Rossini: 'Una voce poco fa' from "Il barbiere di Siviglia"

ロッシーニ: 歌劇《シンデレラ》より「悲しみよ去れ」

Rossini: 'Non più mesta' from "La Cenerentola"

ファリャ: 《7つのスペイン民謡》 / 他

Falla: "7 Canciones populares españolas" /etc.

3/21 [月・祝] **東京文化会館 小ホール**
16:00開演 Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall
(15:30開場)

■料金 S ¥5,000 A ¥4,000 U-25チケット ¥1,500 ※U-25チケットに関しては裏面をご確認ください

【主催】東京・春・音楽祭実行委員会 / KAJIMOTO

ISABEL LEONARD

ニューヨークが生んだ、久々の大型新人——イザベル・レナード

イザベル・レナードは、まだ20代の若い歌手だ。しかしニューヨークに生まれ、高校もパフォーミング・アーツ専門校、大学院もジュリアードに通ったという彼女は、学生時代からバーバラ・ボニーとリサイタルで共演するなど、既にビックリするくらいのキャリアを築いている。ラヴェルの《子供と魔法》のソリスト(ネコ役とリス役!!)でニューヨーク・フィルハーモニックに4年前にデビューしたのを聴いているが、その時彼女はまだ、大学院課程を終えたばかりだったはずだ。

そんな彼女の名前をニューヨークの観客に決定的に印象付けたのは、やはり2007年秋、メトロポリタン歌劇場で歌ったグノー《ロメオとジュリエット》のステファノ役だろう。いわゆるズボン役のこの役には、小さいけれどもとてもチャーミングなアリアがある。しかしこのアリア、音域も広く、決してやさしい曲ではない。この時は、彼女にとってMETデビューであり、ジュリエットにアンナ・ネトレブコ、ロメオにロベルト・アラニーヤという、個性の強いスターのパワーが爆発した公演でもあった。しかし彼女のフレッシュな歌声は、そんなプレッシャーを微塵も感じさせず、広いMETを飛翔して、あつという間に観客を魅了してしまった。ニューヨーク・タイムズ紙のうさ型の批評家が、「アンナ・ネトレブコが歌っているときに(この)長いオペラのズボン役で大評判を取るのには難しい。しかしレナードは、それを成し遂げた」との評を寄せたのも、異例のことだ。この公演は、全世界の映画館に生中継されたから、ご覧になった方も多だろう。

アメリカの若い歌手らしく、彼女はオペラだけでなく、コンサートやリサイタルにも早くから積極的だ。次々にメジャー・デビューをこなしながらも、とてもバランスよくレパートリーを開拓しているように思える。日本でのリサイタルでも、今のレナードならではのフレッシュな魅力を開花させてくれることだろう。

小林伸太郎 (音楽ジャーナリスト、在ニューヨーク)



イザベル・レナード (メゾ・ソプラノ)
Isabel Leonard (Mezzo Soprano)

ニューヨーク生まれ。クラシック音楽界で話題の若手メゾ・ソプラノ。エディス・パース、マリリン・ホーン、ブライアン・ゼガー他に師事。ジュリアード音楽院で学んだ後、母国を中心に活動しながら、2007年9月にドミンゴ指揮のグノー《ロメオとジュリエット》のステファノ役でメトロポリタン歌劇場デビュー。その後、パリ・オペラ座、バイエルン国立歌劇場、ザルツブルク音楽祭等、欧州の主要な歌劇場・音楽祭に登場。コンサートでは、ウェルザー＝メスト、サロネン、ゲルギエフ、マゼールらと共演している。受賞歴も多く、シヨシヤナ財団のリチャード・ゴールド賞(2007年)、リチャ・アルパネーゼ＝ブッチーニ財団賞(2006年)、ジュリアード音楽院卒業時にウィリアム・シューマン賞(2006年)他。

東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2011 -

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う——
明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1ヵ月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」やオーケストラ公演、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、上野公園内の美術館、博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」など、約60公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2011-」が東京-上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ
桜がひらいて
音楽が始まる
上野の森に

開催期間 3月18日(金)～4月10日(日) <http://www.tokyo-harusai.com/>

東京春祭がこだわりのクオリティで贈る歌曲シリーズ

東京春祭 歌曲シリーズvol.5

アンゲリカ・キルヒシュラーガー (メゾ・ソプラノ)

2011年3月20日(日) 16:00開演 東京文化会館 小ホール
料金:S ¥8,000 A ¥6,000 U-25チケット ¥1,500
マラーの歌曲 / 他 ピアノ:ヘルムート・ドイチュ

《東京春祭 歌曲シリーズ》

- 2009年 vol.1 ディートリヒ・ヘンシエル (バリトン)
- vol.2 マックス・エマヌエル・ツェンチツチ (カウンター・テナー)
- 2010年 vol.3 リカルダ・メルベート (ソプラノ)
- vol.4 ミヒヤエル・シャーデ (テノール) ※公演中止

チケット発売 2010年12月5日(日) 10:00～

東京・春・音楽祭実行委員会 <http://www.tokyo-harusai.com/> オンライン・チケットサービス(座席選択可能)
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター) 会館内チケット売場にて販売有
カジモト・イープラス 0570-06-9960 <http://kajimotoeplus.com/>

チケットぴあ 0570-02-9999 (自動音声) Pコード:122-427 <http://pia.jp/t/harusai2011/> (パソコン・携帯電話共通) 全国のチケットぴあ店舗にて販売有
e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai2011/> (パソコン・携帯電話共通) 0570-06-9995 (オペレーター) ※発売初日特別番号(10:00～18:00のみ)

U25 U-25チケットについて

25歳以下の方が対象。
お取扱いは東京・春・音楽祭実行委員会公式ホームページのみ。
チケットページにて詳細をご確認の上、お申込みください。

PRESENT プレゼント

東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2011- の有料公演のうち、3公演分をご購入くださったお客様にプレゼントをさしあげます。ご来場の際に3枚(3公演分)のチケットを受付にご提示ください。

※車椅子席、団体でのご鑑賞など詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
※やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる可能性がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 03-3296-0600 <http://www.tokyo-harusai.com/>

携帯サイト
チケット申込み可能

